



おひさまっこ



外遊び中心のおひさまっこの園児たち なんだかたくましくなって、足も太く、歩くことが上手になってきました。いつも歩いているせいで、地元の人たちにも応援してもらっています。自然の中からすのえんどう、シロツメクサなどの草花や様々な虫、鳥を見つけ楽しそうです。用水や田んぼや池もあるので、保育士は細心の注意を払いながら、一人一人の子どもたちに合わせて、子どもの声を聞きながら要求に応えています。

「〇〇ちゃん～」と手を振って声をかけたり、叫んだり、おひさまっこの保育士さんもたくましいですよ。地域の中に子どもの声が響きわたり、散歩している高齢者も自然と笑顔になってきます。「田んぼにはまった～」と時々失敗も自然から学ぶことが多いと思います。「3歳までにどれだけ歩いたかによって、今後の人生が変わる」ともいわれています。おひさまっこの園児は頼もしいですね(*^-^*)



・6月の土曜保育を希望の方は5月26日（金）までに、用紙を提出してください。（希望の方は両親の土曜日が就労しているという就労証明書が必要となりますので添付して提出してください。）

・入園時にお渡しした『与薬について』の用紙を確認していただき、与薬がある場合は与薬依頼書と1回分の薬を保育士に必ず手渡しをお願いします。

・着替えの記名が消えかかっているものがあります。今一度記名の確認をお願いいたします。

・発熱した場合、熱が下がってから24時間以内の登園は見合わせてください。また、顔色や呼吸、鼻水など体調の変化があった場合は家庭で見守ってください。

6月の予定

6日(火) 発育測定

12日(月) 保育料引き落とし

16日(金) 命を守る訓練

30日(金) 誕生会



虫歯予防デー6月4日



時の記念日

6月10日



1928年、日本のこどもの虫歯がとて多くなってきたので、歯医者さんたちが「6」「4」にちなんで、6月4日を「虫歯予防デー」という、歯を守って健康な体を保つための日としました。今は6月4日から10日までの1週間を「歯の衛生週間」としています。

子どもの歯は、1歳ごろから前歯が生えはじめ、2歳から3歳で20本の歯がそろいます。歯にはごはんやお菓子を細かくし、飲み込みやすくする大切な役目があります。ごはんや甘いもののかすが歯についたままとかすが歯をとかすものにかわって、虫歯になってしまいます。子どもの時からごはんやお菓子を食べた後は歯についているかすを取り除くために歯をみがくことが必要なのです。

時計は時間を図る道具です。いま、何時かをしる道具です。むかしは太陽や星の位置、水や砂の落ち方、長い線香のもえかたなどで、時間をはかっていた。安土桃山時代の末になって西洋から機械の時計がもたらされ、正しく時間を図ることができるようになりました。日本で初めて作られた時計は中国から伝わった「漏刻」といって、水がろうこくつぎつぎに落ちていくことで時間を図る時計（水時計）でした。

この漏刻によって時間を図り、鐘や太鼓をならして時間を知らせたのが、今から約1400年ほど前、飛鳥

時代の天智天皇のときで、671年の旧暦4月25日（新暦では6月10日）でした。そのため、6月10日が時の記念日となりました。ちいさいころから時間を守り、規則正しい生活をするよう心がけましょ

5月の子どもの姿



散歩の途中 いっぱく！いっぱい
ベンチに腰掛け、ゼリーを保育士からもらいました。「あ～おいしかった(^_^)」

5月はお天気の良い日が多かったなので、外遊び中心の生活でした。よく遊んで、よく歩いて地元の人によく声をかけてもらい、「遊んでいってよ～」

